

SSH 2期目の新たな挑戦

日田高だより No-5

Hitaから 世界へ

平成29年6月発行・大分県立日田高等学校

グローバルリーダー育成塾【第1回・開講式】 (5月27日)

将来の日本を支える人材として世界へ挑戦する気概やリーダーとしての素養の育成を目的に、年間4回、国内の各界著名人による講演や意見交換会を実施します。第1回・開講式には、県内26の高校の1、2年生約250名が参加。本校からは1年生14名、2年生14名の計28名が参加しました。今回は、大分市出身の政治解説者・篠原文也氏による講演のほか、参加者によるテーマ別協議等が行われました。参加者の感想を紹介します。



グループ別協議では、他校の生徒と活発に意見を交換します。



広瀬知事の前で発表
緊張しました！！

財津 篤(1年・三隈中学校出身)

午前中の講演や午後のグループ別協議など、とても充実した内容でした。中でも、グループ別協議内容の発表では、班の代表として広瀬県知事の前でプレゼンをする事ができ、とても貴重な経験となりました。私の将来の夢は、中学の社会科の教師になることです。今、とても良い緊張感の中で勉強に取り組むことができているので、これを継続しながら、夢の実現に向けて一步一步前進していきます。中学生の皆さんも色々な活動に挑戦することで、知識の幅や人生の幅が広がりますよ。

生徒の思考・判断・表現力を最大限に引き出す『学び』の実践

SSH2期目を迎えた日田高校では、知識注入型の授業から、AL(アクティブラーニング)を取り入れ生徒が自ら思考・判断し、自分の考えを的確に表現できる力や、仲間と協働する態度を育成する授業への転換を図っています。今後もより一層、学校をあげて授業改善へ積極的に取り組んでいきます。



積極的にICT器機を導入



「確かめる」、「本物を見る」
そして「思考を促す」実験



班別討議の内容を、ホワイト
ボードを使って発表



様々な課題に対して班毎に討議。
その意見集約の様々な手法についても学ぶ。



数学の解答を板書して
自ら説明。